

第 13 回講義の基本問題・応用問題（その 1）

学籍番号								提出日	月	日	13	
学籍	学部			年	氏名							1

問 13-1 (1) 国会議員の定数、(2) 衆議院議員と参議院議員の選挙権と被選挙権、(3) 衆議院議員の総選挙と参議院選挙の通常選挙の選挙方法について、公職選挙法の規定を調べよ。

問 13-2 地方自治法 5 章 2 節を読み、有権者たる住民が地方公共団体の議会の解散と議員の解職を直接請求できることを確認したうえで、なぜ国会・国会議員についてそのような規定がないのかについて考えよ。

第 13 回講義の基本問題・応用問題（その 2）

学籍番号							提出日	月	日	13
学籍	学部			年	氏名					2

問 13-3 わが国で制定される法律の多くが、各省庁が原案を作る内閣提出法律案であり、議員提出法律案はきわめて少ない。このことについて、どのように考えるか。

問 13-4 国会は、無能なのか、それとも、十分に機能しているといえるか。

第 13 回講義の基本問題・応用問題（その 3）

学籍番号							提出日	月	日	13
学籍	学部		年	氏名						3

問 13-5 憲法 67 条 1 項は、「内閣総理大臣は、国会議員の中から国会の議決でこれを指名する」と規定しており、内閣総理大臣は実質的には国会議員による互選で選任される。これを国民が直接選挙によって選べる制度にするよう変更するとすれば、それはよいことなのだろうか。